

2019年度 子どもたちの“こころを育む活動”全国大賞



社会福祉法人

阪南市社会福祉協議会 大阪府

あなたも私も笑顔になる～子ども福祉委員～



一人で暮らす高齢者の「もう一度自分で買い物をしたい」夢をかなえ、子どもたちが買い物に付き添っています。相手の目線に合わせて会話するうちに、自然に笑顔がはじけます。

活動の概要

阪南市の小・中学生による『子ども福祉委員』の組織を創設。子どもたちは、地域に必要な活動を話し合い、手作りのチラシで高齢者の困りごとを募るなど、地域における課題の発見・解決に向けて積極的に取り組んでいます。

月に1～2回実施する活動は、高齢者宅の電球交換や庭の手入れ、買い物の付き添いなどのほか、地域の掃除イベントの企画や保育所・福祉施設の手伝いなど多岐にわたります。子どもたちは、ボランティア活動に対する感謝の言葉と笑顔に喜びや自信を得て成長しており、同協議会や校区福祉委員、民生委員は、子どもの自主性を尊重しながら活動を全力で支援しています。



年末に向けて、高齢者夫婦宅の網戸を掃除。協力し、次第に要領をつかんで洗えました。



保育所の園児と一緒に海まで散歩するお手伝いの様子です。



福祉施設では落語披露や楽器演奏、話し相手のお手伝いをしています。

活動の特徴

「子どもたちを地域の担い手に」

校区福祉委員のこの発言を機に2017年に1中学校12人で始動した活動は、2019年には3中学校1小学校に広がり、延べ78名が参加するまでに成長。



地域の課題を自ら探し、解決する

まち歩きやアンケートで地域の課題を実感し「力になりたい」と自ら動く子どもたち。そのこころの成長を、大人は自主性を大切に全力で支援しています。



地域の未来を支える“感謝と笑顔”循環の仕組み

日々、子どもたちと高齢者が感謝と笑顔でこころを通わせ、まち歩きでまちを知っていることが、災害時に生かされ、地域を担う人材育成につながっています。



参加者の声

暑かったりしんどかったりしても最後までやれたし、いろんな人を笑顔にできて良かったです。(小学校高学年)

人の役に立ちたくて、入りました。人前に立つのが苦手だったけど、積極的になり、知り合いも増えて良かったです。(中学生)

訪問では、ありがとうって言ってもらい、お礼を言われるってとっても気分のいいことだなと思いました。(中学生)

網戸がきれいになり、親御さんに感謝状を渡したいくらい。話をし、ピアノを聞かせてもらい楽しい時間でした。(依頼者ご夫婦)